

## リバイバル企画「精密加工を実現する計測技術の取り組み」

開催期日：2024年 2月 6日（火）－2月23日（金）

申込締切：2024年 2月16日（金）

光学機器をはじめとして、製品の性能向上や小型化などの要求は高まり続けており、更なる精密加工を実現する計測技術や、工作機上での計測技術が望まれています。そこで新型コロナウイルス禍中にオンデマンド開催した講習会の中から、精密加工と計測技術に深く関わる内容を厳選し、改めて基礎から最新技術まで幅広くご紹介します。前回見逃した方、今回改めて興味を持っていただいた方、多くの方々のご参加をお待ちしています。

開催期間：2024年2月6日（火）10時00分～2月23日（金）17時00分

視聴方法：本講習会はBoxというクラウドサービスを用いてオンライン開催いたします。

Box内の指定フォルダへアクセスすることで、オンデマンド形式での閲覧が可能になります。

講習会テキスト：冊子体の講習会テキストを発送いたします。

お手元に到着まで数日掛かります。お早めのお申込みをおすすめいたします。

\*視聴用のURL情報は、参加申込時に登録いただいたメールアドレスに追ってご連絡いたします。

## 【注意事項】

- 本講習会での講演に対する質問は、アンケートにて承ります。ただし、本講習会のテーマと関係がない質問はお控え下さい。
- 視聴用URLは講習会に登録された参加者のみ利用可能とし、再配布を禁止いたします。また受講者は、動画の録音や画像のキャプチャーおよびそれらのSNSなどへの投稿を禁止いたします。もし発見された場合、事務局は削除を要求できることとします。
- 動画視聴等に関する技術サポートは提供いたしません。また、視聴中に視聴期間を過ぎると再生できませんのでご注意ください。
- Box利用の際に、無料のアカウント登録が必要となります。セキュリティ設定等によりBoxにアクセスできない場合がございますので、参加申込前に下記URLのテスト動画により動作確認をお願いいたします。

\*テスト動画URL：<https://jspe-jp.app.box.com/s/i3fduiviph2cq74whfid82mpyyzas0dp>企画担当者：[歌田英司（日本精工）](#)、[本保聡史（コマツNTC）](#)、[西川顕二（日立製作所）](#)、[芳賀崇（ニュースダイジェスト社）](#)

次 第：（予定）

題 目	内 容	講 師
挨拶		
オンマシン／インプロセス計測の基礎と活用	測定精度や不確かさなどに関する確率・統計理論に基づいた、オンマシン／インプロセス計測の基本的考え方について講述する。さらに、オンマシン／インプロセス計測特有の要求特性、活用方法およびメリットについて概説する。	<a href="#">大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 教授 高谷 裕浩</a>
オンマシン／インプロセス計測の新たな戦略と展開	現状におけるオンマシン／インプロセス計測の基本原則とその特徴についてまとめ、戦略ツールとして新たな考え方や活用方法および今後の課題について講述する。さらに、スマート測定技術としての将来展望についても概観する。	<a href="#">大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 教授 高谷 裕浩</a>
インプロセス監視による加工機の制御と知能化	IoTの発展を背景に、スマート生産システムの実現に向けて加工機械の知能化に関する研究が盛んに行われている。本講演では、加工機のサーボ情報に基づくインプロセス監視技術や加工制御技術について、最新の研究成果を交えつつ紹介する。	<a href="#">慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授 柿沼 康弘</a>
超精密計測の基礎と新しい超精密計測技術の動向	光学部品などの寸法、形状の超精密計測の基礎的な手法を説明する。また、測定機器の校正、トレーサビリティ、不確かさ評価などを含む新しい超精密計測の動向について紹介する。	<a href="#">東京大学 名誉教授 高増 潔</a>
加工機上測定と光学シミュレーションを利用した光学素子加工技術	加工機上測定を利用した光学素子加工技術ならびに光学シミュレーションを利用した光学機能評価技術についての事例を紹介する。	<a href="#">東京電機大学 工学部 先端機械工学科 教授 森田 晋也</a>
超精密加工の概要と新しい超精密機械加工技術の取組み	近年の車載機器、情報家電における光学部品の動向、超精密工作機械の動向、マイクロダイヤモンド工具の動向、加工プロセスの動向を述べ、講演者が手掛ける加工技術、セラミックのマイクロ加工、超音波援用研磨などを紹介する。	<a href="#">中部大学 工学部 機械工学科 教授 鈴木 浩文</a>
超精密加工による最先端科学機器のための研究開発	超精密加工技術は複雑な形状を有する光学素子を超高精度に形成可能であり、様々な最先端の科学研究機器の開発にも応用されている。実例として、金属基材を用いた中性子集光ミラーの開発および各種分光器や天文観測機器に使用される分光用回折格子の加工事例を紹介する。	<a href="#">理化学研究所 量子工学研究センター 先端光学素子開発チーム チームリーダー 山形 豊</a>

主催：公益社団法人 精密工学会 企画：事業部企画第2グループ

協賛（予定）：SME 日本支部/応用物理学会/型技術協会/計測自動制御学会/研削砥石工業会/研磨布紙協会/自動車技術会/全日本プラスチック製品工業連合会/素形材センター/ダイヤモンド工業協会/電気加工学会/砥粒加工学会/日本オプトメカトロニクス協会/日本MID協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本機械工具工業会/日本木型工業会/日本金属学会/日本金属プレス工業協会/日本光学測定機工業会/日本工作機械工業会/日本合成樹脂技術協会/日本材料学会/日本精密機械工業会/日本セラミックス協会/日本塑性加工学会/日本鍛造協会/プラスチック成形加工学会

\*協賛団体にご所属の方は会員価格にてご参加いただけます。

定 員：制限なし

参加費：会員（賛助会員および協賛団体会員を含む）22,000円、学生会員2,200円、非会員36,300円（同時入会申込で参加費割引特典あり、詳細は事務局・講習会係までお問い合わせ下さい）、学生非会員7,700円（会員・学生会員・非会員・学生非会員とも講習会テキスト代含む）\*参加費・講習会テキスト代とも消費税を含みます。\*賛助会員参加無料券をお持ちの方は是非ご利用下さい。

資 料：講習会テキストのみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊5,500円

申込方法：ホームページ（[https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai\\_form.html](https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai_form.html)）からお申込み下さい。

申込先：公益社団法人 精密工学会（〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F、電話03-5226-5191、FAX03-5226-5192）

お申込み→  
フォーム